

5Gセミナー基礎編 「5Gの概要や最新の動向」開催

～にいがた産官学金連携推進ネットワーク～
2月26日(申込者104名)

東日本電信電話(株)新潟支店 副支店長 折笠剛士氏を講師に迎え、オンラインセミナーを開催しました。

折笠氏は「生活の様々な場面で5Gの導入が進められている。5Gとは、超高速・超低遅延・多数同時接続を可能にする通信システムである。中でもローカル5Gは、地域の企業や自治体等の様々なユーザーが、柔軟に構築できるシステムであり、通信障害や災害、ネットワークの影響を受けにくい」とした上で、「当社は、大学や官公庁と連携して、最先端農業の実装やスマート物流の研究を進めている。その他、自治体・大学・商業施設・イベント施設においても5Gのユースケースが想定される」と説明しました。

商工クラブ例会 ～「足裏分析法」足裏でわかる健康～

～商工クラブ(理事長:南波秀憲副会頭)～
3月8日(参加者20名)

当所会員の親睦団体である商工クラブは例会を開催し、今回は「足裏分析法」と題し、英国式リフレクソロジーサロンLUCY 代表の林 妙氏が講演しました。林氏は、足裏から健康状態を判断する方法について、自身の経験や2万人の足を見た実例を交えながら説明しました。

足裏のしわの位置や、足裏の色など注意が必要なケースについて指摘し、足裏の状態を日頃から確認することが重要であると強調しました。



気軽に導入できる「RPA」で生産性向上を!

～建設・不動産業部会(本間達郎部会長)～
3月9日(参加者47名)

RPAテクノロジーズ(株) 東日本エリア統括部 部長 藤田 守氏が「人とロボットが共に働く世界を描く～Withコロナにみる業務オペレーションのニューノーマル～」と題してオンラインにて講演しました。

藤田氏は、事例や実際のRPAの操作方法等を交えながら、「RPAができる作業は限られているが、簡単に作成することができ、従業員の業務時間の短縮による生産性の向上、業務ミスの防止によるリスクマネジメント等を図ることができる」、「コロナ禍で業務のデジタル化が急加速したことと、RPAが一般化・低価格化してきたことにより、生産性向上のツールとして、再びRPAが注目されるようになった」と説明しました。

※RPA:ロボティックプロセスオートメーション
コンピューター上での業務プロセスや作業を人の代わりに行うシステム

今後の海外戦略について

～新潟国際ビジネス研究会(一社)新潟県商工会議所連合会、ジェトロ新潟共催～
3月22日(参加者24名)

国際ビジネスに携わる企業が、めまぐるしく変容するこれからのウィズコロナ時代を生き抜くために、今後の海外戦略についてオンラインで研究会を開催しました。

はじめに、新潟国際ビジネス研究会 座長 木村 誠氏が、「米国バイデン政権発足で何がどう変わるのか?」と題し、米国大統領選挙後に発足したバイデン政権政策方針等について説明しました。

次に、KM International Trading & Consulting 代表 中正宏氏が、「オンラインを活用した外国企業との効果的な商談の進め方」と題し、オンライン商談を円滑に進めるために、開発ストーリーを用意しておくことや、簡単に動画を資料中に挿入できる方法などを解説しました。

人脈とビジネスチャンスの輪が広がる新会員交流会を開催

3月12日(参加者25名)

入会1年～2年目の会員を対象とした新会員交流会を開催し、今回は、当所パワーアップ5000推進委員会 副委員長で玉木尚子社労士事務所 所長の玉木 尚子氏が「知る 交流する 前に進む～新潟社会と馴染むat新潟商工会議所～」をテーマに講演を行いました。

玉木氏は「商工会議所には経営の相談相手になってくれる経営指導員がいてとても頼りになる。また、様々な会合に参加することで良いことがたくさんある。是非、積極的に参加して、ビジネスチャンスの機会をつくってもらいたい」と語りました。

新入会員の紹介にご協力をお願いいたします。右記QRコードからご入力ください。



令和3年度税制改正等説明会を開催

～企業経営委員会(木山 光委員長)～
2月25日(参加者25名)

新潟県事業承継ネットワークの澁木 廣 氏と大森 幹夫 氏が新潟県の事業承継の現状や、令和2年4月に開始した事業承継時の経営者保証解除に向けた新しい支援制度等について説明しました。

続けて、日本商工会議所 産業政策第一部副部長の宮澤 伸 氏が「令和3年度税制改正」についてオンライン形式により説明を行いました。

今回の改正では、M&A実施後に発生し得るリスクに備えるための準備金制度の創設、設備投資減税や所得拡大促進税制の延長・拡充等、事業継続・雇用維持に資する税制が措置されました。

その他、中小企業者等の経営基盤を引き続き強化するため、法人税率の軽減措置や研究開発税制等、多くの制度で延長・拡充が図られています。

通常議員総会の上程議案を審議

～総務委員会(吉田徳治委員長)～
3月10日(参加者13名)

各部会・委員会の部会長、委員長で構成する総務委員会を開催し、通常議員総会に上程する「令和3年度事業計画(案)及び収支予算(案)」「定款の一部変更(案)」について慎重審議の結果、いずれも原案通り承認しました。

また、事務局から会員増強運動について、新規加入200社以上と会員数純増の16年連続達成が見えてきたことを報告しました。



新潟市の価値(バリュー)を上げるには?

～まちづくり委員会(阿部正喜委員長)～
3月3日(参加者17名)

まちづくり委員会は、令和2年度第3回目の委員会を開催し、福田会頭から諮問のあった「新潟市の価値(バリュー)を上げる民間視点の都市政策」について研究しました。

当日は、菊池副委員長(株)日本政策投資銀行 新潟支店長)から「都心まちづくりにおける官民連携の賑わい創出～全国他事例のご紹介～」と題して、全国9都市の事例説明を受けた後、出席委員各々の知見を活かした幅広い意見交換を行いました。

今後も引き続き委員から意見やアイデアを求めながら、内容を整理し、取り纏めていく予定です。



輸出拡大に向けた取組について学ぶ

～国際貿易委員会(別府幸典委員長)～
3月15日(出席者13名)

新潟県産の農産品等の海外輸出状況や、活躍する県内企業のノウハウを委員で共有するために、JA全農インターナショナル(株) 常務取締役 管理・事業開発部部長 川松 義丈 氏と新潟麦酒(株) 代表取締役 宇佐美 健 氏を講師に迎え、各社の輸出戦略に関する勉強会を開催しました。

川松氏は、JA全農グループの輸出戦略や、「2030年農林水産物・食品輸出目標額5兆円」に向けてどのような取組をしていくのかについて、宇佐美氏は、現在輸出が急拡大しているウイスキー事業の戦略等について説明しました。



輸出戦略について説明する宇佐美氏

古町芸妓お昼の舞を開催

3月6日(参加者150名)

古町芸妓の踊り鑑賞会「古町芸妓お昼の舞」を新潟市中央区地域課、新潟三業協同組合と共同で開催しました。

越後獅子や四季の新潟など計6曲が披露されたほか、振袖・留袖の説明や、扇子を使ったしぐさや表現など古町芸妓自身による解説も行われ、古町芸妓への理解を深めました。



古町芸妓動画 YouTubeにて公開中

○古町芸妓PR映像「しきさい」

一人の女子高生と古町芸妓の小さな出会いのドラマを通じて、古町芸妓や新潟古町というまちの魅力をお伝えします。

○古町お座敷物語

主人公のサラリーマンが古町の花街を学ぶ物語。柳さんと新潟のお座敷にまつわるお話をお楽しみください。

